

TOSHIBA

Leading Innovation >>>



変化する現代(いま)を勝ち抜く企業クラウド #2

東芝ファイナンスが提供する課金・決済基盤

「ASP・SaaS・クラウドアワード2011」ASPIC会長特別賞受賞

2011年7月6日

東芝ファイナンス株式会社

ネットビジネス営業部 ネットビジネス開発グループ
グループ長 末松 寧



※本資料は当社の著作物であり、当社の許可なく頒布・複製することを禁じます。

変化、創造に向けて「実行」 To Change and Create Do Commite and Challenge

商 号 東芝ファイナンス株式会社
TOSHIBA FINANCE CORPORATION

本 社 東京都品川区大崎3-6-6
東芝ファイナンスビル

代表者 原岡 良明

設 立 1959年4月1日

資本金 39億1,000万円

従業員 885名(2011.3.31)

Consumer Service 【個人向けサービス】

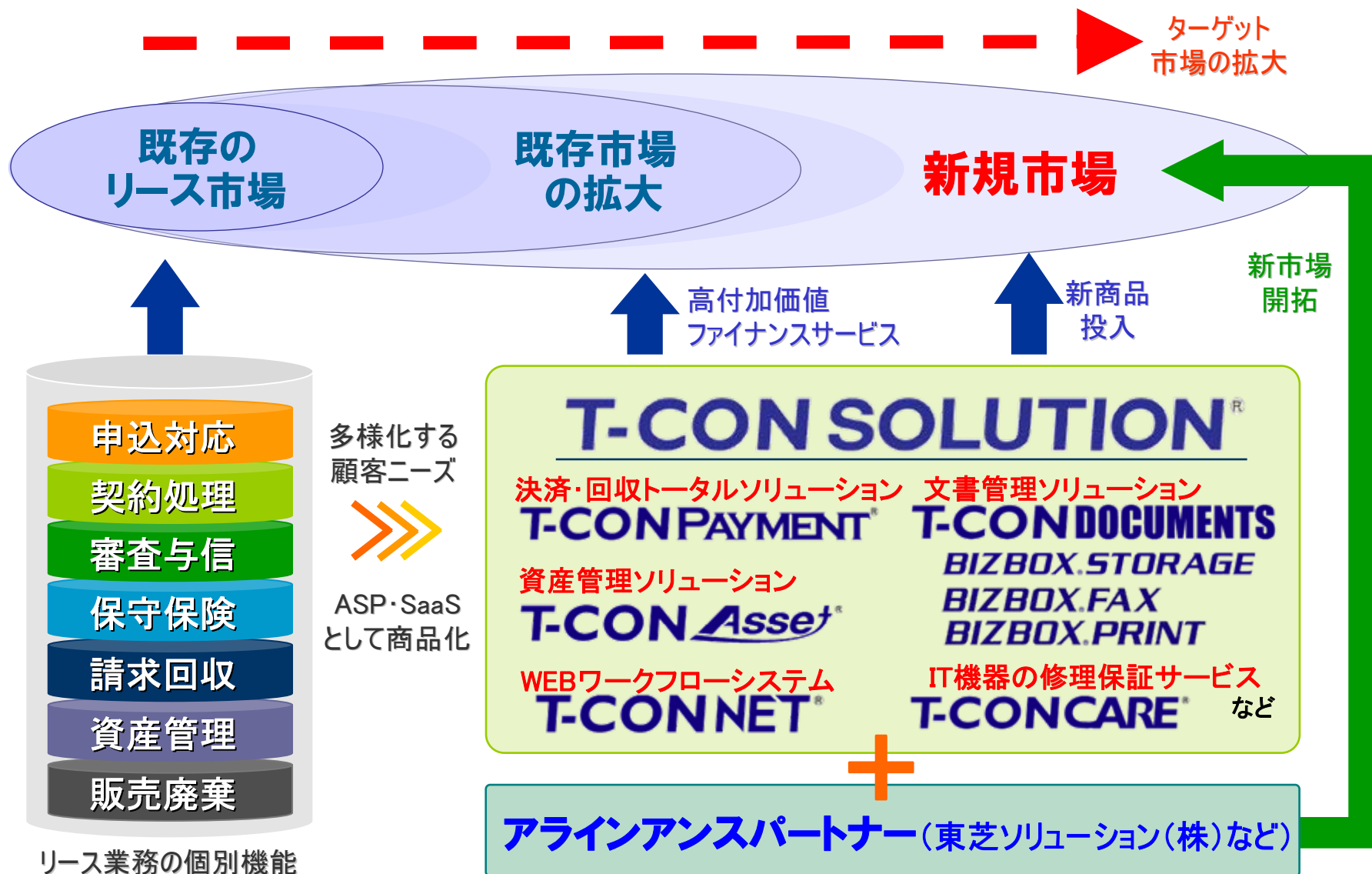
- ・クレジット事業
- ・カード事業
- ・パーソナルローン事業
- ・提携ローン事業

Corporate Service 【法人向けサービス】

- ・リース&割賦事業
- ・オートリース事業
- ・ネットビジネス事業
- ・東芝PC CLUB事業
- ・業務サポート事業
- ・融資事業



「リース」の個別機能と東芝グループの「IT技術」を融合させ、ASP・SaaSとして提供！



変化する現代(いま)を勝ち抜く企業クラウド #2 東芝ファイナンスが提供する課金・決済基盤

1. 市場ニーズの多様化と課金の多様化
2. 課金・決済基盤の重要性
3. 課金・決済基盤のシステム概要について
4. 課金・決済基盤を活用したビジネスモデル

1. 市場ニーズの多様化と 課金の多様化

IT × FINANCE

現代(いま)はどんな時代か？

- 長引く景気低迷、競争激化
- 強いられるコスト圧縮、最適化
- 内外の環境変化のスピードが加速
- 事業継続性の確保

その結果

企業経営の意識改革

→ 「所有」から「利用」へ

「所有」から「利用」の意識変化をもたらすもの

- 市場・顧客ニーズの多様化に対応する力
 - インターネットの利用拡大に伴うハード、ソフト、サービスの多様化
- クラウドコンピューティングの利用促進
 - スピード感ある開発、ICT環境の最適化
- コストの見える化
 - アウトソーシングやレンタルなど、利用に応じた従量料金制の導入

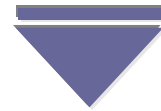
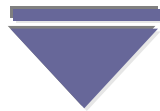
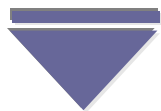
技術革新・ニーズの多様化にあわせて課金方法も変化

ソフトウェア
アプリケーション
物販

新聞・書籍
物販

ビデオ・DVD
**物販
レンタル**

比較的シンプル
Ex. 単価 × 個数



**SaaS・クラウド
利用料請求**

**電子出版
オンライン会員**

**PPV
視聴料請求**

柔軟で複雑な課金に

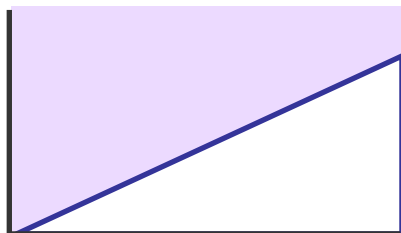
- ・パッケージ販売
- ・定額＋従量制
- ・オプション販売
- ・
- ・

→ **新たな課金方法・料金体系への対応が必要**



世の中に存在する様々な課金方式(一例)

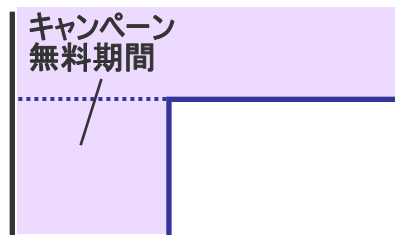
従量課金



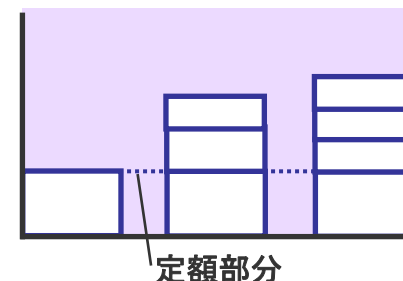
定額制



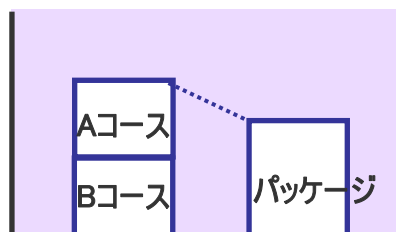
キャンペーン



アイテム課金



パッケージ割引



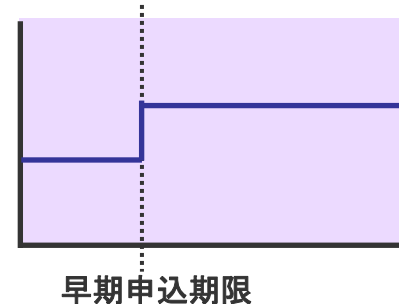
属性・ステータス割引



- ミドルエイジ割引
- レディースプラン
- 年数経過割引
- 利用量割引 etc



早期申込割引



複数の方式を組み合わせ
構築するのも珍しくない最近
の課金モデル



顧客ニーズにあわせて様々な課金体系を揃える企業

エアライン

- 早割り
- AIR + HOTEL
(パッケージ割引)
- マイル(ポイント)割引 etc



ホテル

- 早割り
- パッケージ割引
- レディースプラン等
(属性・ステータス割引) etc



携帯電話

- 定額制プラン
- パッケージ割引
- 家族割り
(属性・ステータス割引) etc



オンラインゲーム

- 初期登録無料
(キャンペーン割引)
- アイテム課金 etc



→ 多様な課金形態は、顧客ニーズに対応し売れる仕組みを作り出す

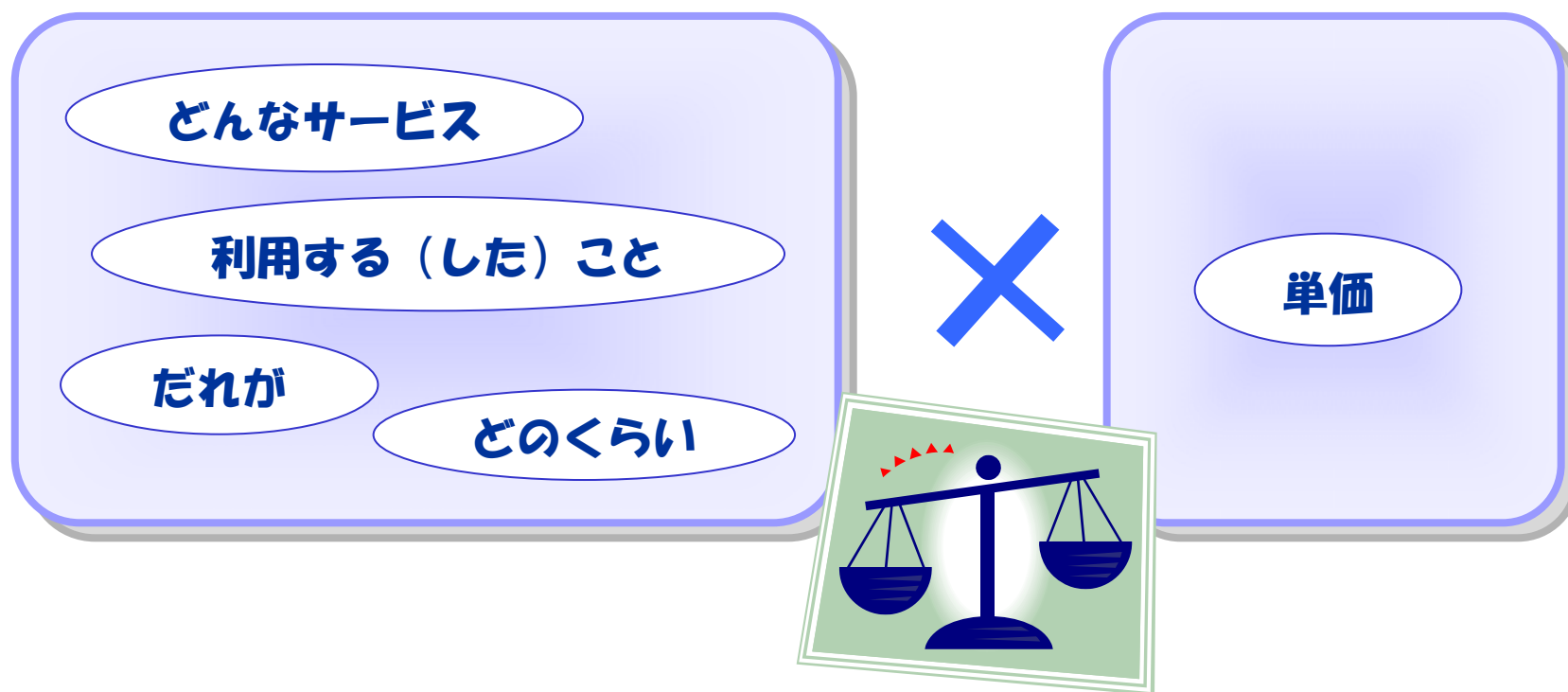
2. 課金・決済基盤の重要性

IT × FINANCE

● 課金とは

「料金を課すること。また、その金」

「あるサービスを利用する(した)ことに、料金をかけること」



→サービスごとにどのくらい利用したかをはかる“秤(はかり)”が要る。

● ETC（電子料金収受システム）

ノンストップ自動料金支払システム

無線通信により車載器と料金所の間で、車両の情報、ETCカードの番号、入口料金所、出口料金所、通行料金が交換される。

● スマートメーター（デジタル電力計）

消費電力をリアルタイムに把握

把握したデータを電力事業者や消費者へ送信。電力事業者による電力の開通・遮断といった遠隔操作も可能に。

良い秤は、柔軟な課金/料金体系を創造させることが出来る。

■ ETC割引制度

- 時間(日)帯割引
- 特定区間割引
- 利用頻度割引

■ 首都高の距離別料金制議論 等

■ 電力の料金体系を可変に

- TOU (Time Of Use: 時間帯別料金)
- CPP (Critical Peak Price: 緊急ピーク料金) etc

● クラウドにおける秤とは

「クラウドコンピューティング」の特性の1つは
“Measured Service”(メータリング機能)



米国国立標準技術研究所:NIST
(National Institute of Standards and Technology)

■メータリング機能

クラウド提供者は、従量制管理の目的で、利用者がどの程度サービスを利用したかを数値化する必要がある。

つまり

クラウドには、あらかじめ“秤”が存在している。

だから

“秤”によって計測された結果(予測)をもとに、課金すればよい。

● クラウドの料金の決め方

一般的な販売価格の決め方



コンピュータリソースの利用量に応じた
課金＝従量制

- 種類: CPU、メモリー、ストレージ、ID、トランザクション、利用アプリetc.
- 容量(数): 数、大きさ、
- 時間: 秒、分、時、日、月、任意の期間etc.

バランスが重要
価格の設定はかなり難しい

3. 課金・決済基盤の システム概要について

IT × FINANCE

【第2部】
東芝ファイナンス(株)
でご紹介



クラウドサービス

Eiplaza
情報活用SaaS
業務SaaS

SaaS ...

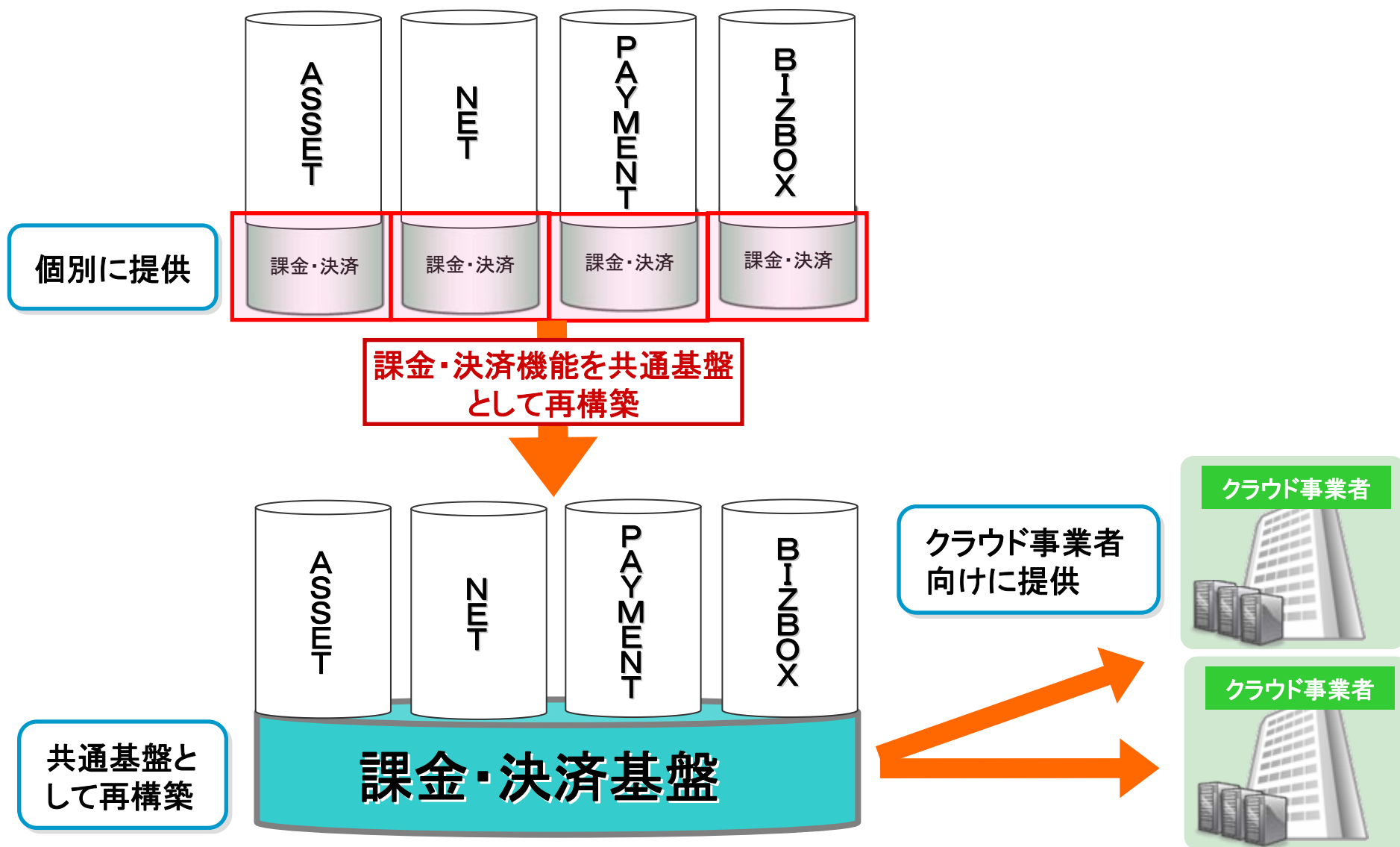
PaaS:クラウド基盤

IaaS:DC/ファシリティ

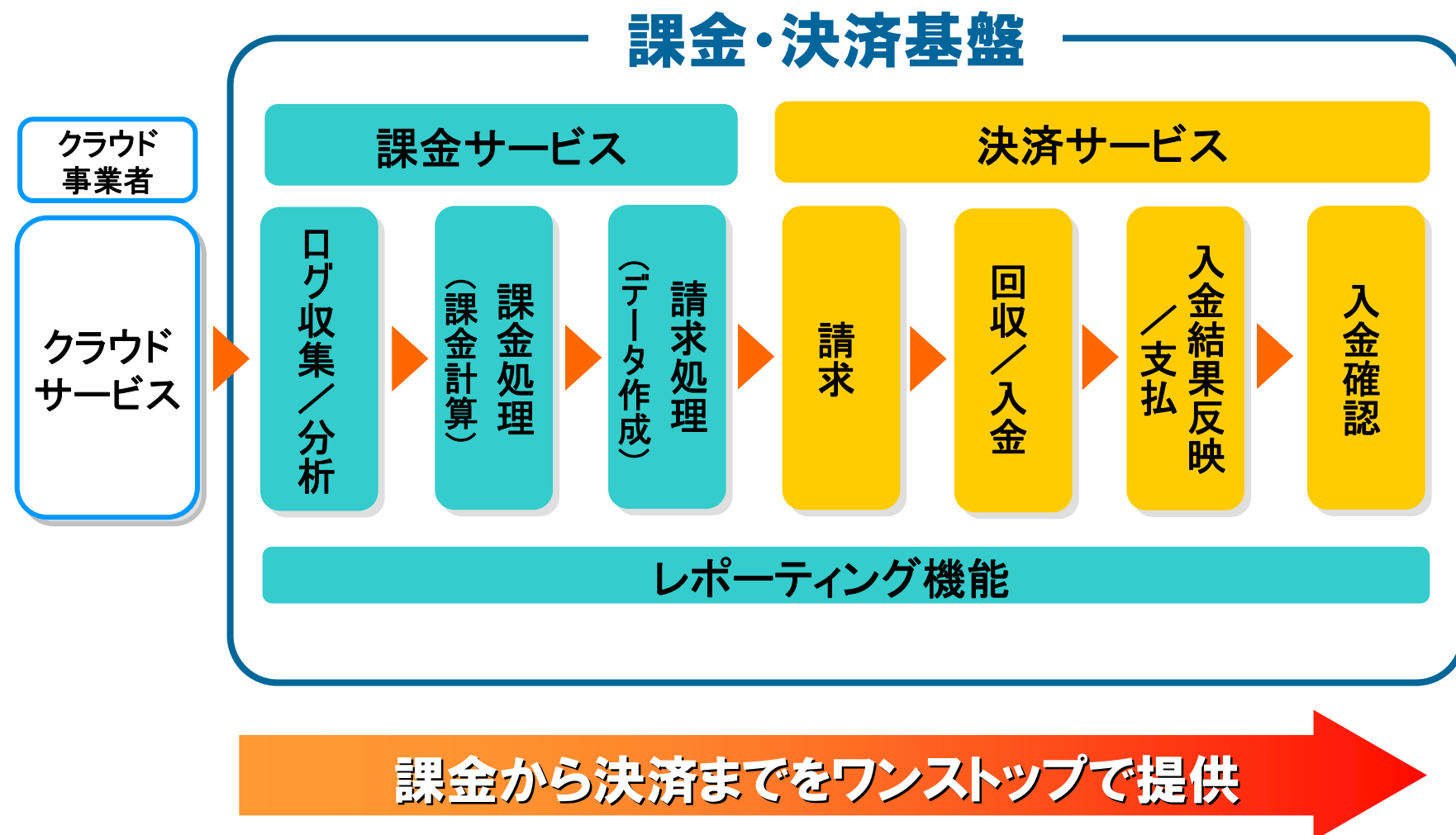
課金・決済基盤

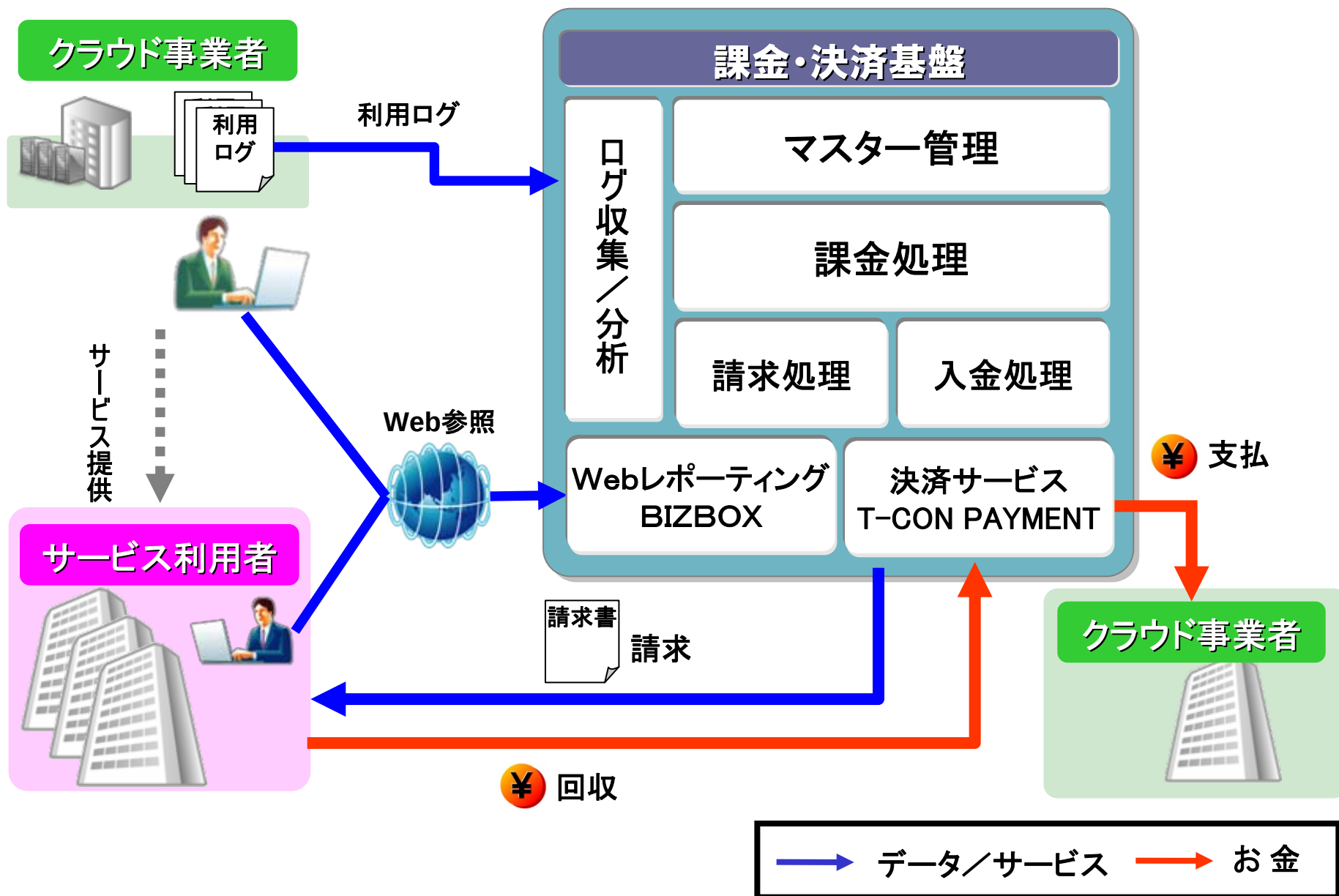
【第1部】
東芝ソリューション(株)
でご紹介

● 自社で利用する課金・決済基盤をクラウド事業者向けに提供



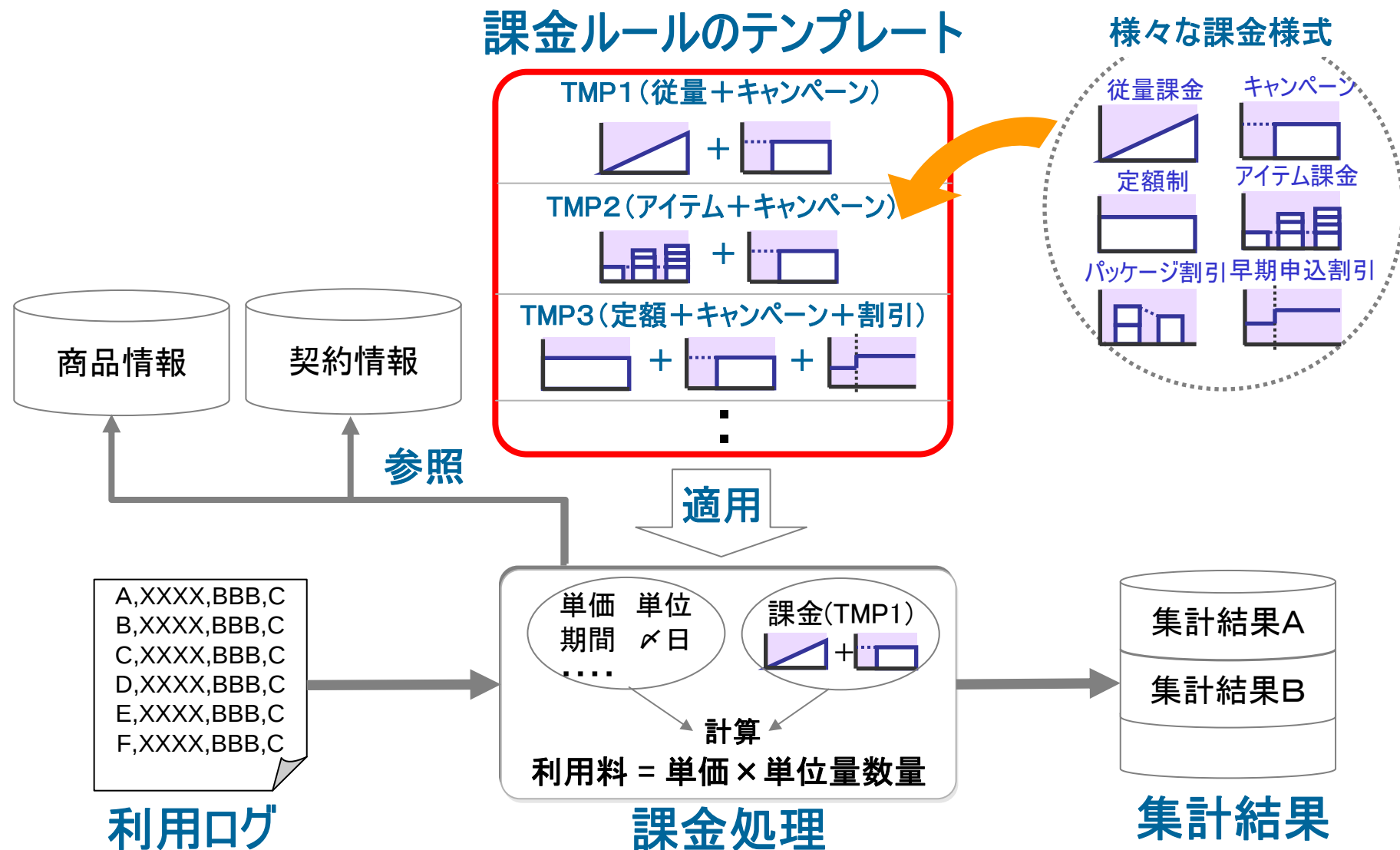
● ファイナンスノウハウを活かした課金・決済基盤を提供



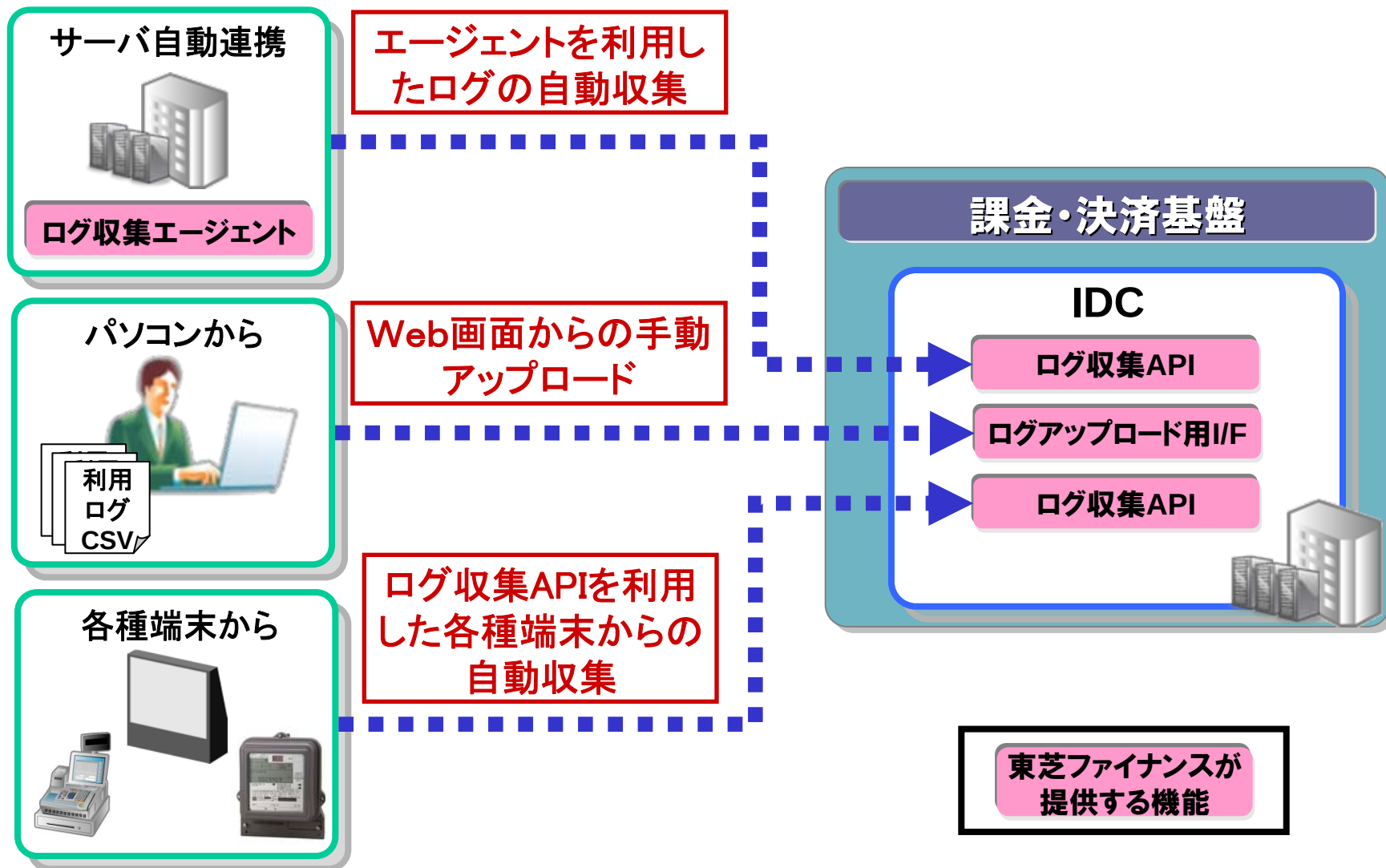


機能	記載内容
ログ収集／分析	ログ収集エージェント機能、ログ受信用API機能 ログ分析機能
課金処理	契約情報、商品情報、課金ルールをもとに課金計算の実行
請求処理	請求情報作成処理、決済サービス連携機能
Webレポーティング	課金情報、請求情報、入金情報閲覧機能(Web) 請求明細、支払明細の出力(紙) ダウンロード機能(課金情報、請求情報、入金情報)
入金処理	入金情報表示機能、決済サービス連携機能 ※弊社決済サービスご利用の場合は入金結果の自動連携
マスター管理	契約管理、顧客管理、商品情報管理、課金ルール管理
決済サービス(請求・回収)	代行回収、支払代行

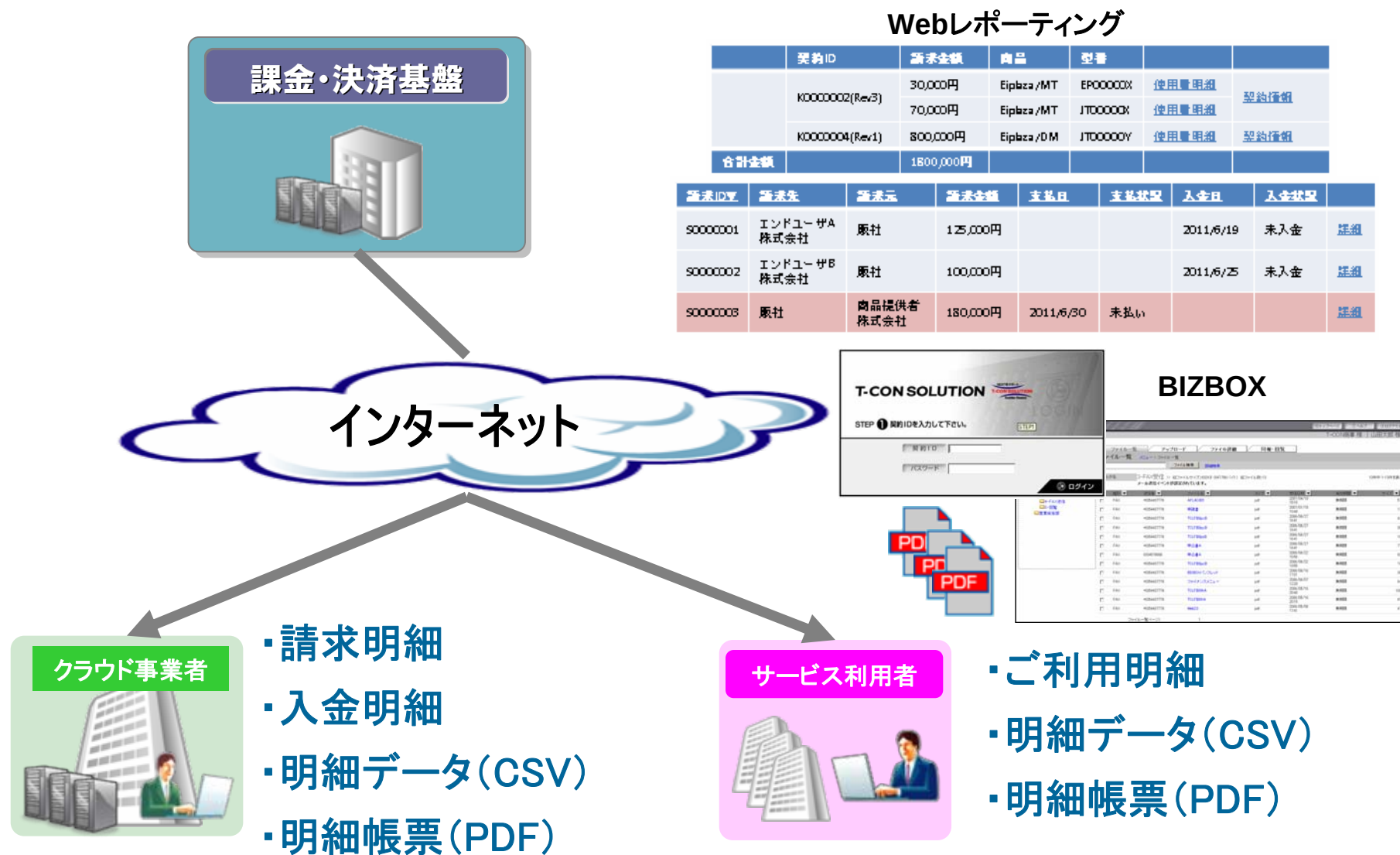
● テンプレートを利用した柔軟な課金計算を実現



● あらゆるシーンで利用ログの収集が可能



● Web画面から各種明細、CSVダウンロードが可能



● 法人・個人を問わず決済が可能です。

個人向け



充実の決済ラインナップ

- クレジットカード
- コンビニ・郵便振込
- 電子マネー
- 口座振替
- ネットバンキング
- ペイジー決済(銀行振込)
- 多通貨決済(カード決済検討中)

法人向け



- 法人取引では一般的な銀行振込に対応
- リース・割賦などの提供
- 法人顧客に対する売掛債権に与信機能を提供
- 多通貨決済も検討中

東芝ファイナンスの決済サービス T-CON PAYMENTは、法人・個人に対応可能な決済手段を取り揃えており、クラウド事業者の顧客層を広くカバーします。

1. 迅速なサービスの立上げが可能

- 課金・決済機能を基盤としてクラウド提供するため、新たなサービスの迅速な立上げが可能です。

2. コストの見える化を実現

- 自社で課金・決済機能を構築するためのIT投資が必要なく、初期投資のリスクを削減するとともに、課金決済業務のコストの見える化を実現します。

3. 様々な課金パターン(料金プラン)に対応

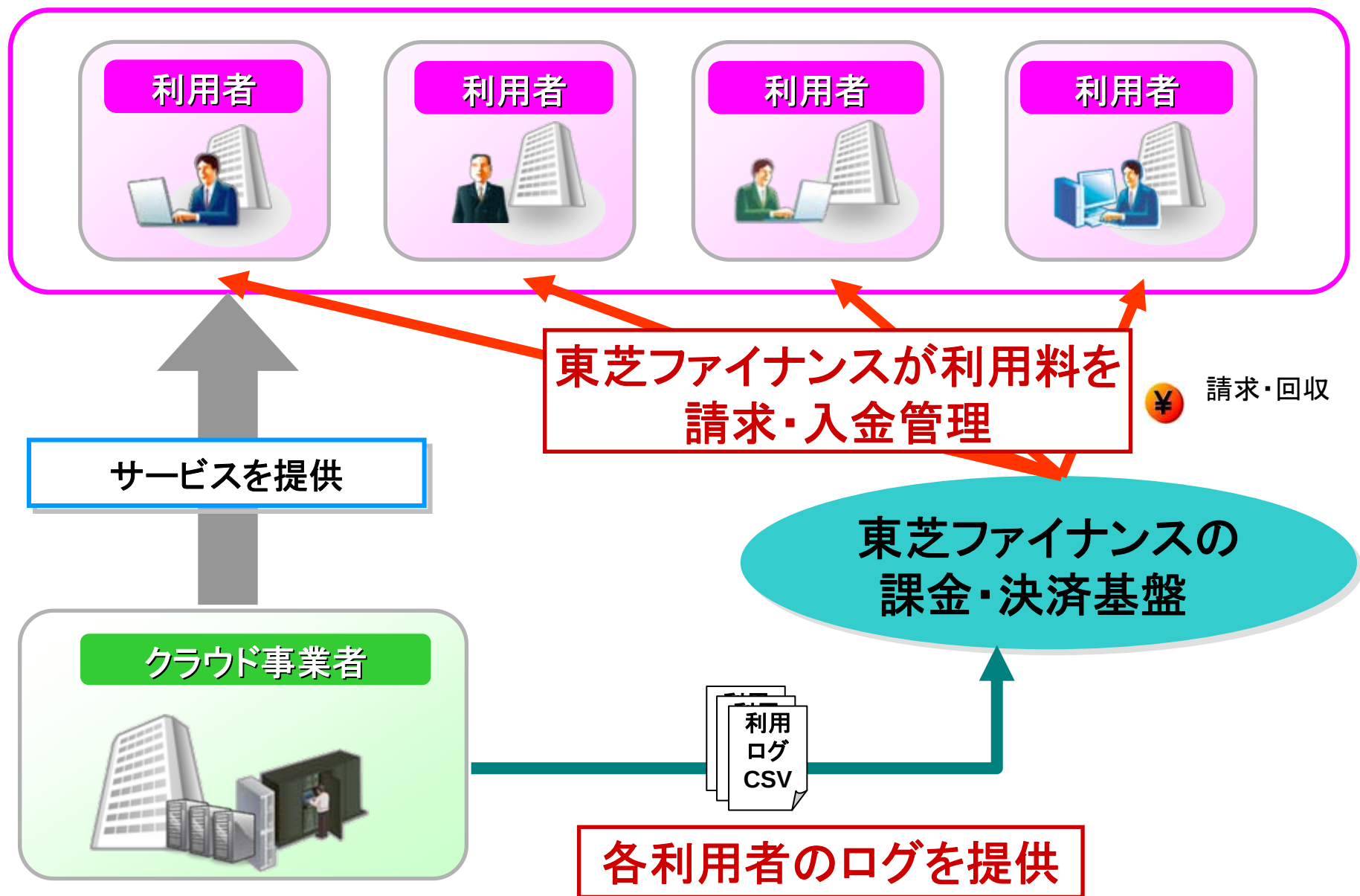
- 課金要素(時間、容量、回数、ID、アイテムなど)をもとに課金計算が可能です。従量課金の、複雑で様々な課金パターンに対応することで、クラウド事業者をサポートします。

4. 請求・回収業務のコストを低減

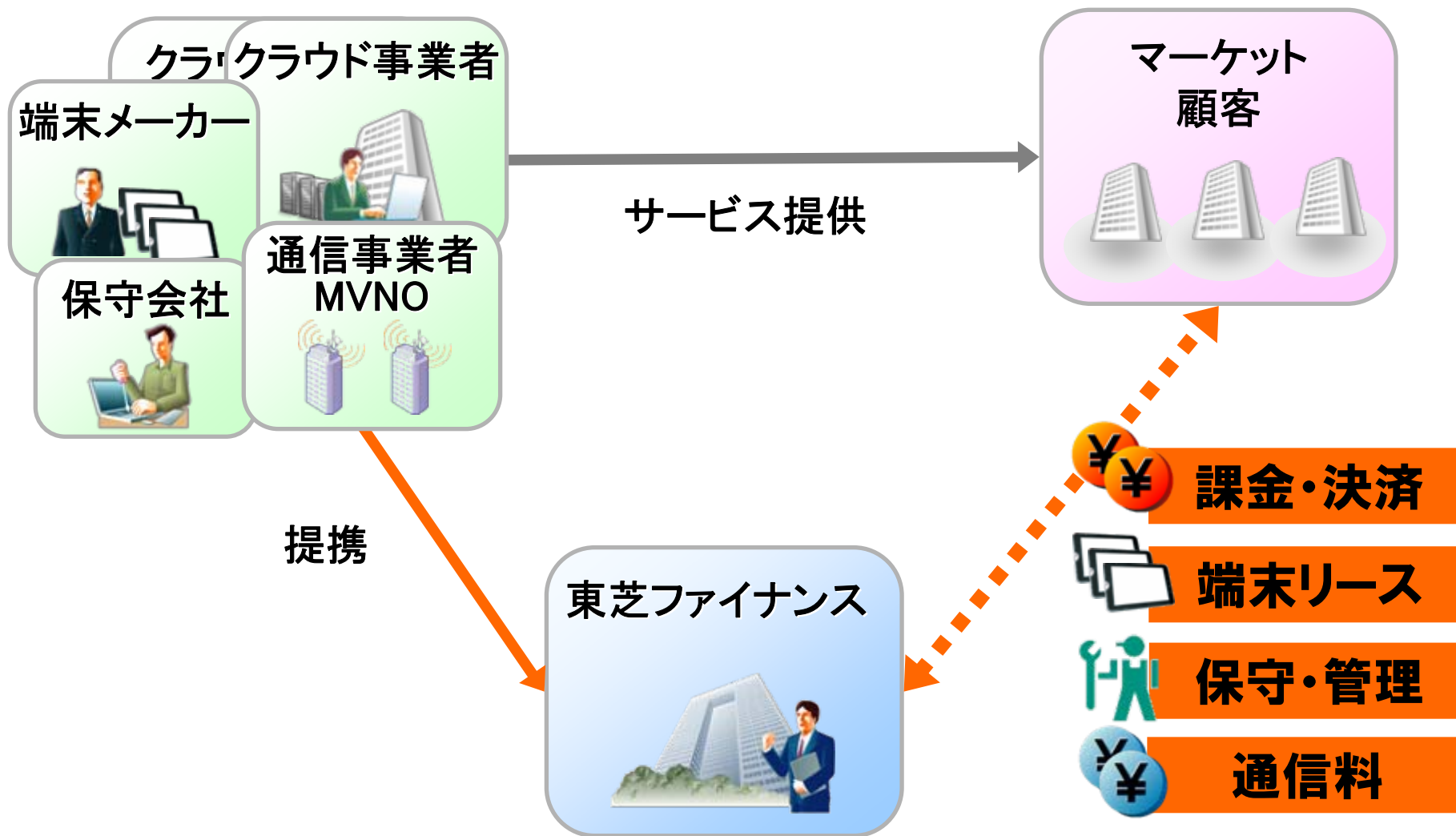
- 課金・決済に関わる業務ルーチンの簡略化や業務全体の効率アップ、人的コストの削減が可能となります。

4. 課金・決済基盤を活用した ビジネスモデル

IT × FINANCE



● 課金・決済基盤を活用したビジネスモデル



マーケット

多様化する顧客ニーズ
⇒さまざまな課金形態をもつ
ビジネスモデルが登場

サービス
事業者の
課題

課金の多様化
(モノを売りやすくするための仕組)
⇒複雑かつ柔軟な課金に対応

東芝ファイナンスの課金・決済基盤

クラウドサービスとクラウドを活用した
ソリューションを売りやすくする仕組み

ご静聴ありがとうございました

本資料または弊社商品へのお問合せ等につきましては、
下記までお気軽にお問合せください。



東芝ファイナンス株式会社 ネットビジネス営業部

〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-6 東芝ファイナンスビル
営業時間 9:00～17:30(土日祝日を除く)

[電話] 03-6367-6345

[e-mail] nb@toshiba-finance.co.jp

[WEB] 企業情報 <http://www.toshiba-finance.co.jp/>
商品情報 <http://t-con.net/>